



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立山の手南小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

「命を大切にする学習」

学校開放司書の皆さんが学校図書館から「命の大切さ」に関連する本を選定し、各学年の担任がその中から実態に合わせて本を選び、全クラスで「命の大切さ」について考える学習に取り組みました。



「さくらルームおすすめの本を紹介しよう」

さくらルームでは、週に1回全員で学校図書館に行き、本を読んだり借りたりしています。国語の学習では、その中からおすすめしたい本を選び、カードを作り掲示しました。カードを見た子どもたちが、その本を読み、おすすめの輪が広がってきました。



学習センターとしての機能

「4年生プレゼンツ ポップ&帯で魅せる！おすすめ本コレクション」

4年生の国語の学習では、「本は友達 みんなにぜひ読んでほしいと思う本について、そのよさが伝わるポップや帯を作ろう」という内容で、手作りのポップや帯を作り、学校図書館内に掲示しました。たくさん本が紹介され、多くの子どもたちが興味をもってそれらを手に取る姿が見られ、紹介した4年生も達成感を味わうことができました。また、他の学年も様々な学習で学校図書館を活用しています。本校では、学習に使う本を学校図書館内に複数冊所蔵することで、安心して学習に取り組むことができるようにしています。



情報センターとしての機能

「一斉読書」

今年度も学校全体で本に親しみ、読書への関心を高め、読書を通じたコミュニケーションを活性化させることをねらいとして、一斉読書を実施しました。寄託図書の「朝・自由読書セット」から興味をもちそうな本や、学習に関連する本などを選定し、クラスごとにローテーションをして、より多くの本に親しむことができるようにしました。いつもは手に取る機会の少ないジャンルの本に挑戦したり、友達や担任との共通の話題になったりして、読書の楽しさを感じる機会となりました。



「どの本にしようかな」と本を選ぶのも楽しい1年生。

